

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	田中 健則 (たなか たけのり)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学部 4 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 5 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 80 回日本栄養・食糧学会大会
発表者(※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	田中 健則、稲田 陽和、箕西 あかり、山本 林、丸亀 裕貴、矢野 敏史、原 太一
発表題目(※学会発表の場合のみ記載)	オートファジーを活性化するカロテノイドの同定と作用機序の解析
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>健康寿命の延伸において重要な役割を担う、細胞内の品質管理機構「オートファジー」に着目し、日常的な食事に含まれるカロテノイドによる活性化作用について検証を行った。従来の研究では、オートファジー活性を正確に測定できていないケースがあったため、本研究ではより定量性の高い評価手法を用いて、カロテノイドがオートファジーに与える影響の再評価および作用メカニズムの解析を実施した。複数のカロテノイドをスクリーニングした結果、これまで活性化作用があると報告されていた一部のカロテノイドでは明確なオートファジー活性が確認されなかった一方で、オートファジーを活性化するカロテノイドを 1 種同定した。また、その作用は、従来知られている主要な活性化経路とは異なるメカニズムによるものであることが示唆された。本成果は、食品成分による効果を検証する上で、正確かつ定量的な測定手法を用いることの重要性を示すものである。</p>	

※無断転載禁止